

分野	専門基礎分野 一疾病の成り立ちと回復の促進一	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	生活療法学Ⅱ Daily Life CareⅡ	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	生活療法学Ⅱでは、運動療法を単に「運動・活動のための」療法としての概念ではなく、リハビリテーションの概念を学び、障害を持ちながら生活の再構築を必要としている対象への看護に役立つ内容とする。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの概念を理解できる。 2. リハビリテーションの看護概念を理解できる。 3. 運動器系の障害とリハビリテーション看護が理解できる。 4. 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護が理解できる。 5. 日常生活動作における看護の実際が理解できる。 		
評価方法	終講試験 授業態度も評価に含みます		
使用テキスト	系統看護学講座 リハビリテーション看護 (医学書院)		
参考図書	実践！リハビリテーション看護 (照林社)		
メッセージ	リハビリテーション看護の奥深さを知識と技術を学んで欲しいと思います。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1 2	リハビリテーションの概念	リハビリテーションの定義と理念を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1.リハビリテーションの定義と理念 1)リハビリテーションの本来の意味 2)全人的復権としてのリハビリテーション 3)リハビリテーションに対する国際的な理解 4)車椅子の方と社会にでよう、1日旅行計画 	講義 演習	
3	リハビリテーション看護	リハビリテーション医療システムについて理解し、リハビリテーション看護を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1.リハビリテーションの対象とその理解 2.障害をもつことについて考える 1.リハビリテーションの分野 3.リハビリテーション医療システム 1) 連携職種 2) 多職種連携のあり方 ・チームアプローチ・チームアプローチモデル 4.リハビリテーション看護の定義と役割 1) リハビリテーション看護の定義 2) チームの中の看護師の役割 	講義	
4	リハビリテーション医療における到達目標と評価	ADLの定義と評価について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ADL の定義 2. ADL 評価について 1) バートル指数 2) 機能的自立度評価法 3. できるADL・しているADL・するADL 	講義	
5	障害受容と看護 障害受容と看護	障害受容過程と障害受容への働きかけ、看護について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1.障害受容過程と障害受容への働きかけ 2.生活の再構築への援助 3.障害受容過程と看護の役割、看護師の対応 4.障害受容に影響を与える因子 	講義	

6	運動器疾患・脳血管疾患を持つ対象のリハビリテーション	脊髄損傷患者・脳血管障害者のリハビリテーション看護について学ぶ	1.骨折、脊髄損傷患者のリハビリテーション看護 2.脳血管障害者のリハビリテーション看護 3.ROM 訓練と MMT 4.回復過程からみたリハビリテーションの特徴	講義	
7	骨折・脊髄損傷・脳血管障害を持つ対象への援助技術	リハビリテーション看護における援助技術を実施する	フィジカルアセスメント演習 関節可動域、ROM訓練、MMT、大腿四頭筋セッティング、等尺性運動 脊髄損傷患者の移動動作（平行移動、体位変換、プッシュアップ）	演習	理学療法士
8			終講試験		